

千葉大学病院にて Low-risk GTN 妊娠性絨毛性腫瘍 /侵入奇胎で化学療法をうけられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年7月6日

婦人科

婦人科では、絨毛性腫瘍(侵入奇胎)診療に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2004年4月1日～2022年12月31日の間に Low-risk GTN 妊娠性絨毛性腫瘍/侵入奇胎の診断で抗がん剤治療をされた方

1. 研究課題名

「Low-risk GTN 妊娠性絨毛性腫瘍/侵入奇胎群の治療に関する後方指摘検討」

2. 研究期間

2023年承認日～2025年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

2004年～2022年に千葉大学医学部附属病院婦人科で Low-risk GTN 妊娠性絨毛性腫瘍/侵入奇胎のため化学療法(メトトレキサート(MTX)もしくはアクチノマイシンD(ACT-D))を受けられた患者さんの、身長・体重・病歴・血液検査値・治療歴・治療成績などを電子カルテから調査します。化学療法薬の種類による治療効果、副作用の程度の関連を調べます。研究内容は、学会・学術誌に公表予定です。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：診療録に記載されている身長、体重、年齢、病歴、治療内容、治療成績、副作用、血液検査値、画像検査結果など

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：婦人科 准教授 碓井 宏和

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる部屋で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 婦人科

医師 碓井 宏和

043 (222) 7171 内線 6894